

平成29年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領	1
1－1. 調査時点及び調査対象期間	
1－2. 調査対象	
1－3. 調査方法	
1－4. 回収状況	
第2章 概況	
2－1. 全体の動き	2
2－2. 業種別の動き	3
第3章 各判断項目回答割合	
3－1. 業況	6
3－2. 完成工事高・生産高・売上高	7
3－3. 在庫水準	8
3－4. 採算	8
3－5. 資金繰り	9
第4章 景況天気図	
4－1. 記号説明	10
4－2. 全業種D.I.値の状況	10
4－3. 業種別D.I.値の状況	11
第5章 産業別経営上の問題点	13
5－1. 回答実数	13
5－2. 回答割合 (%)	13
第6章 産業別設備投資の状況	14
第7章 業界の景気動向等その他のご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点：平成29年10月2日(月)～平成29年10月25日(水)

(2) 調査対象期間：平成29年7月～9月期実施、及び平成29年10月～12月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(41件)、サービス業(44件)、の5業種159社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

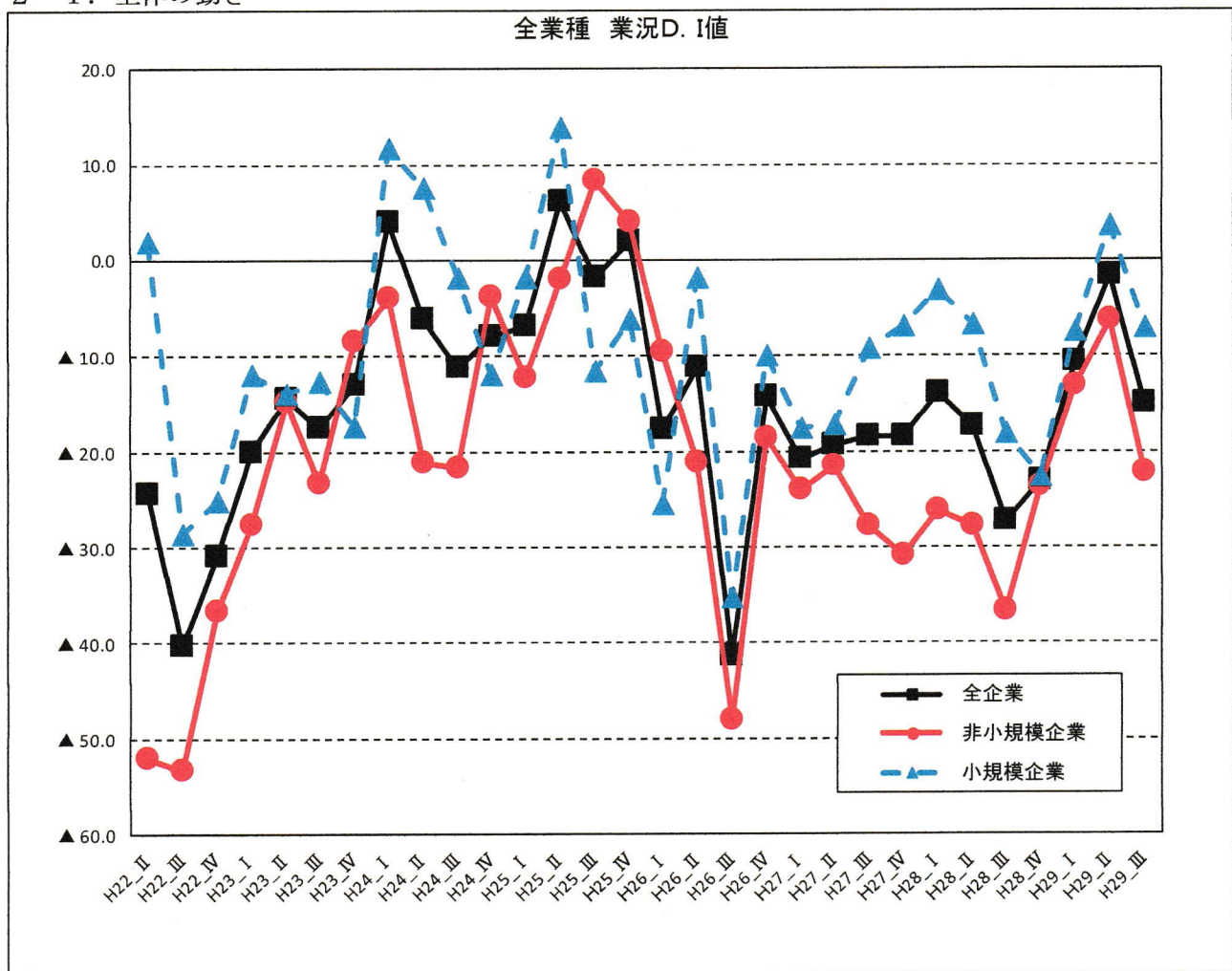
1-4. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	30 件	23 件 (非小規模企業:11件) (小規模企業:12件)	76.7 %
製 造 業	24 件	20 件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:11件)	83.3 %
卸 売 業	20 件	15 件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:6件)	75.0 %
小 売 業	41 件	25 件 (非小規模企業:14件) (小規模企業:11件)	61.0 %
サービス業	44 件	36 件 (非小規模企業:20件) (小規模企業:16件)	81.8 %
合 計	159 件	119 件	74.8 %

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業・小売業・サービス業は5人以下)を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成29年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」19.3%、「悪化企業」21.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲1.7と前期に比べ8.9ポイント改善しました。規模別でみると、小規模企業のD.I.値は11.1ポイント改善し3.6、非小規模企業は7.0ポイント改善し▲6.3となりました。全体としては、改善傾向にあるものの、14期連続のマイナス水準であることから、網走市における景気停滞感は依然として続いています。

業種別でみた業況は、建設業が16.1ポイント改善して21.7、サービス業が23.0ポイント改善して13.9、卸売業が13.0ポイント改善され6.7と回復傾向にあります。ただし、製造業は前期の▲5.0から25.0ポイント悪化し▲30.0、小売業は前期の▲30.8から2.8ポイント改善し▲28.0と、業種間に関きがみられます。

次期<10月～12月>の業況判断D.I.は13.4ポイント悪化の▲15.1を予想しており、規模別でみると、小規模企業のD.I.値は▲7.1、非小規模企業は▲22.2となっています。業種別では建設業0.0、製造業▲25.0、卸売業▲13.3、小売業▲20.0、サービス業▲16.7と多くの業種で先行きに不安感が見られます。

経営上の問題点としては、「人材不足」が圧倒的に高く(回答の55.5%)、次いで「諸経費増」、「得意先減少」が続きます。

全体としては景気の停滞感から回復・改善傾向が確認されるものの、次期の業況は悪化しています。製造業では「諸経費増」、「同業者間の競合」が問題となっており、具体的には水産関係では原料不足による原料価格高騰、売上不振が深刻な状況です。小売業では「得意先減少」、「売上の不振」が問題となっており、企業経営としての経営改善の必要性がより求められている状況にあると推測されます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	33.3 %	25.0 %	8.3	↗
非小規模企業	27.3 %	18.2 %	9.1	↗
全 体	30.4 %	21.7 %	8.7	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	16.7 %	8.3 %	8.4	↗
非小規模企業	18.2 %	9.1 %	9.1	↗
全 体	17.4 %	8.7 %	8.7	↗

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	25.0 %	8.3 %	16.7	↗
	非小規模企業	9.1 %	27.3 %	-18.2	↘
	全 体	17.4 %	17.4 %	0.0	→
完成工事高	小規模企業	33.3 %	25.0 %	8.3	↗
	非小規模企業	18.2 %	36.4 %	-18.2	↘
	全 体	26.1 %	30.4 %	-4.3	↘
資金繰り	小規模企業	16.7 %	16.7 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	9.1 %	-9.1	↘
	全 体	8.7 %	13.0 %	-4.3	↘

(2) 製造業

■生産高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0 %	18.2 %	-18.2	↘
非小規模企業	22.2 %	66.7 %	-44.5	↘
全 体	10.0 %	40.0 %	-30.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
非小規模企業	11.1 %	66.7 %	-55.6	↘
全 体	5.0 %	45.0 %	-40.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
	非小規模企業	11.1 %	33.3 %	-22.2	↘
	全 体	5.0 %	30.0 %	-25.0	↘
生産高	小規模企業	9.1 %	27.3 %	-18.2	↘
	非小規模企業	11.1 %	33.3 %	-22.2	↘
	全 体	10.0 %	30.0 %	-20.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
	非小規模企業	11.1 %	11.1 %	0.0	→
	全 体	5.0 %	20.0 %	-15.0	↘

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	16.7 %	33.3 %	-16.6	↘
非小規模企業	44.4 %	22.2 %	22.2	↗
全 体	33.3 %	26.7 %	6.6	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	16.7 %	0 %	16.7	↗
非小規模企業	25.0 %	0.0 %	25.0	↗
全 体	21.4 %	0.0 %	21.4	↗

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	22.2 %	-22.2	↘
	全 体	0.0 %	13.3 %	-13.3	↘
売上高	小規模企業	0.0 %	80.0 %	-80.0	↘
	非小規模企業	0.0 %	22.2 %	-22.2	↘
	全 体	0.0 %	42.9 %	-42.9	↘
資金繰り	小規模企業	16.7 %	16.7 %	0.0	→
	非小規模企業	11.1 %	0.0 %	11.1	↗
	全 体	13.3 %	6.7 %	6.6	↗

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1 %	36.4 %	-27.3	↘
非小規模企業	14.3 %	28.6 %	-14.3	↘
全 体	12.0 %	32.0 %	-20.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1 %	27.3 %	-18.2	↘
非小規模企業	21.4 %	28.6 %	-7.2	↘
全 体	16.0 %	28.0 %	-12.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	18.2 %	18.2 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	35.7 %	-35.7	↘
	全 体	8.0 %	28.0 %	-20.0	↘
売上高	小規模企業	27.3 %	18.2 %	9.1	↗
	非小規模企業	0.0 %	35.7 %	-35.7	↘
	全 体	12.0 %	28.0 %	-16.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	9.1 %	-9.1	↘
	非小規模企業	0.0 %	14.3 %	-14.3	↘
	全 体	0.0 %	12.0 %	-12.0	↘

(5) サービス業

■ 売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.8 %	25.0 %	-6.2	↘
非小規模企業	55.0 %	25.0 %	30.0	↗
全 体	38.9 %	25.0 %	13.9	↗

■ 採 算

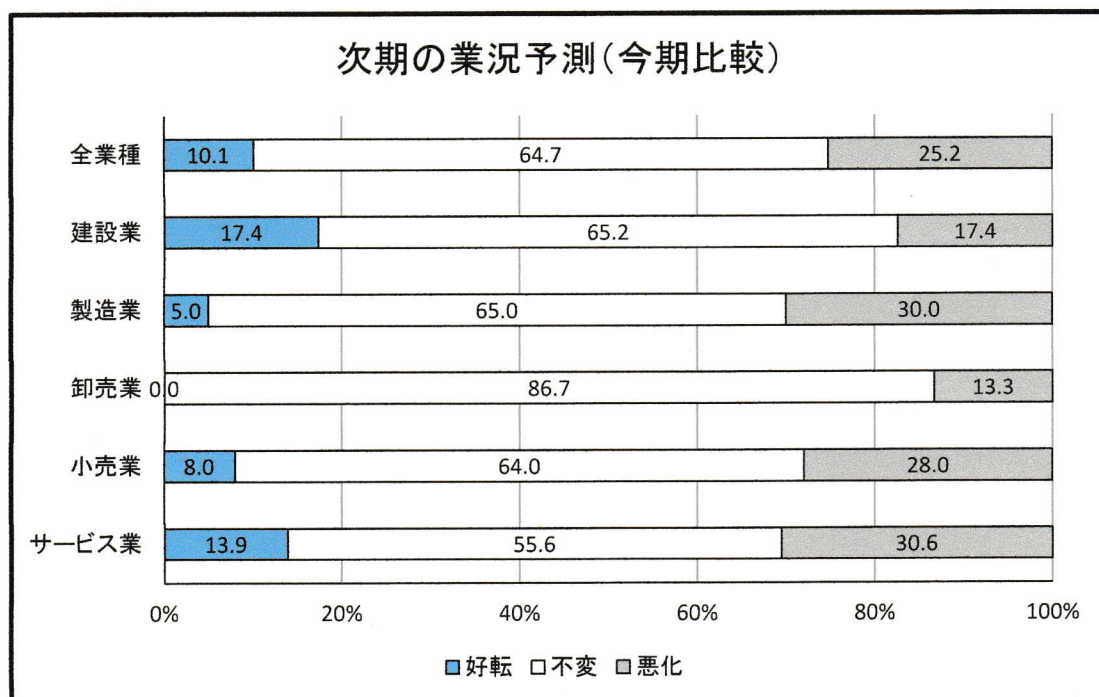
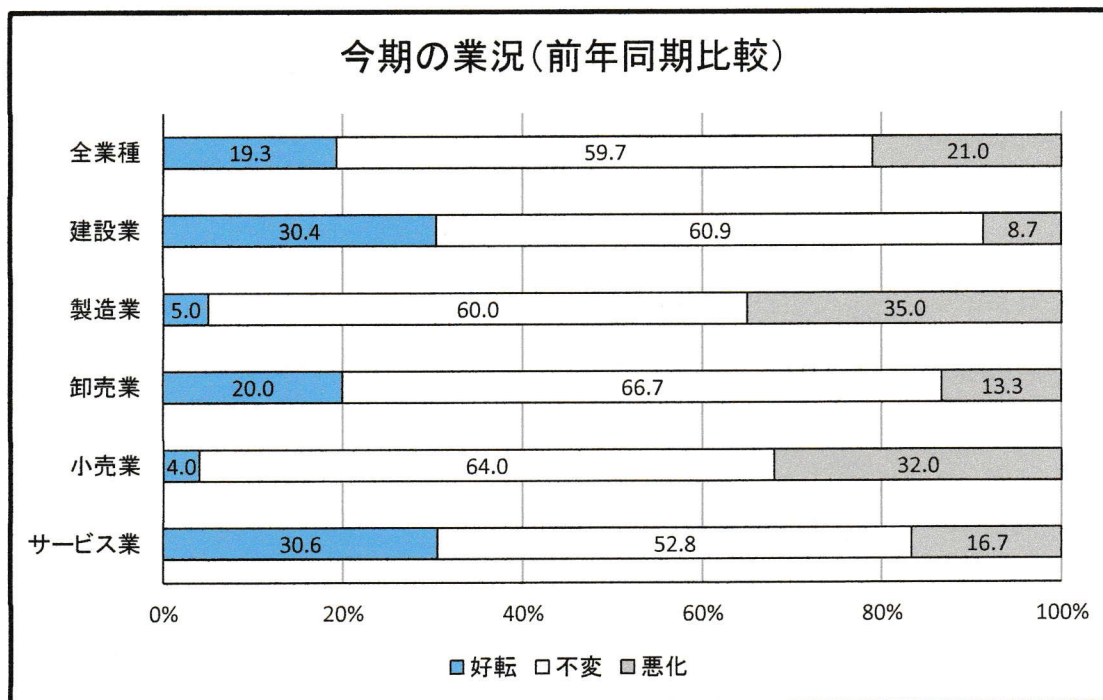
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.8 %	12.5 %	6.3	↗
非小規模企業	25.0 %	30.0 %	-5.0	↘
全 体	22.2 %	22.2 %	0.0	→

■ 次期の見通し

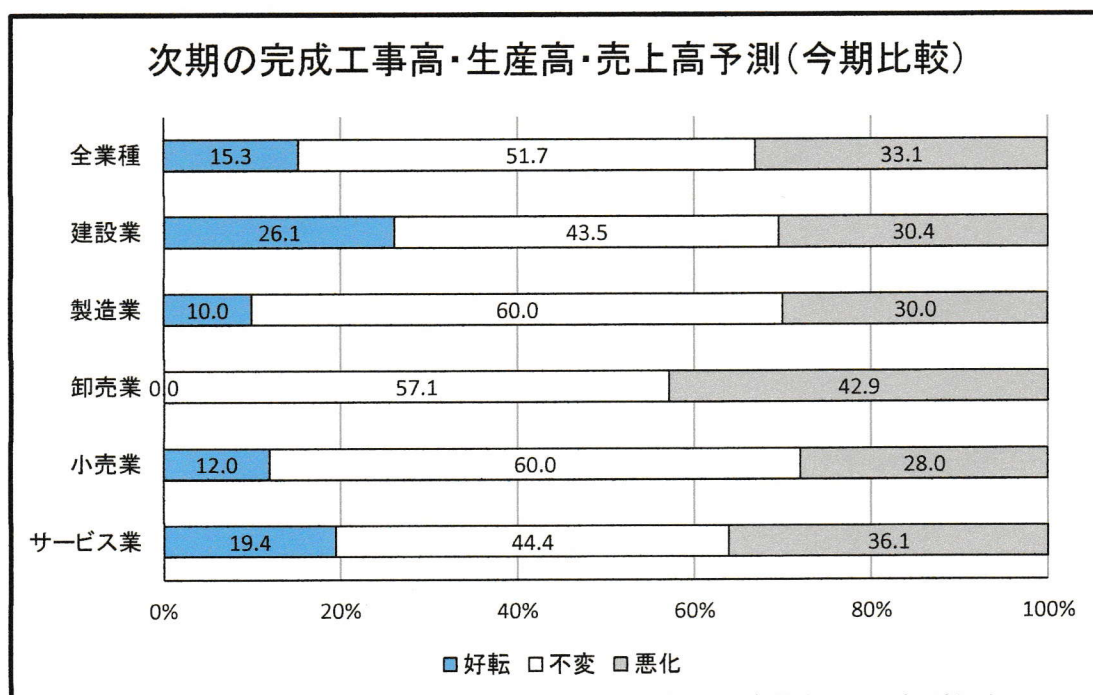
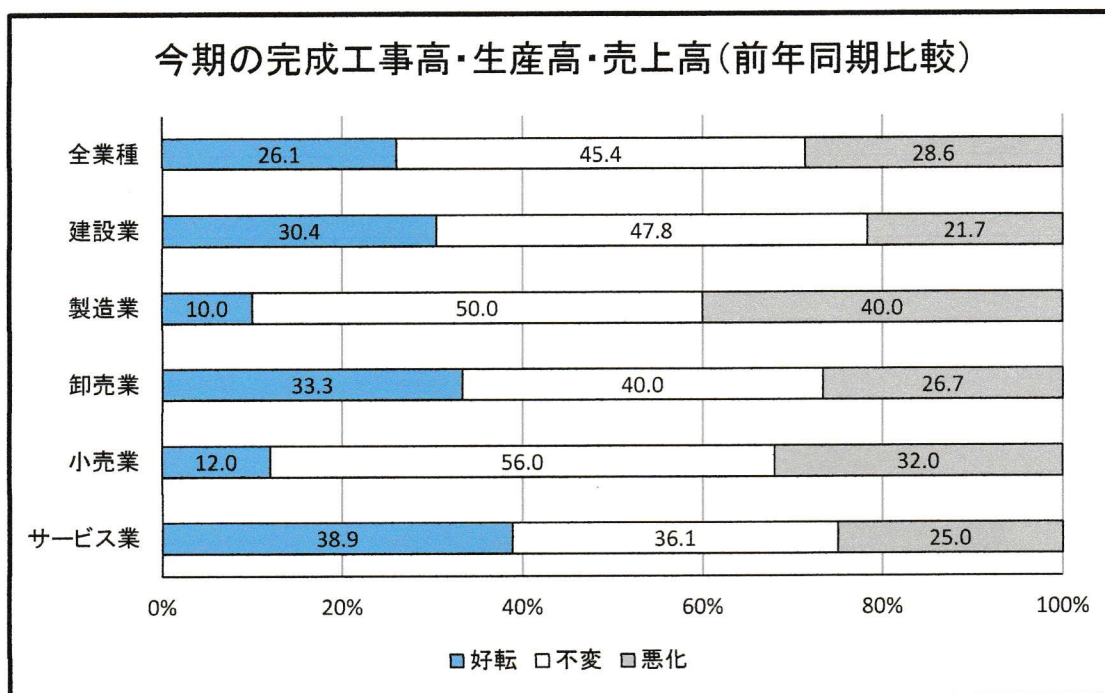
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	6.3 %	25.0 %	-18.7	↘
	非小規模企業	20.0 %	35.0 %	-15.0	↘
	全 体	13.9 %	30.6 %	-16.7	↘
売上高	小規模企業	6.3 %	31.3 %	-25.0	↘
	非小規模企業	30.0 %	40.0 %	-10.0	↘
	全 体	19.4 %	36.1 %	-16.7	↘
資金繰り	小規模企業	12.5 %	6.3 %	6.2	↗
	非小規模企業	5.0 %	15.0 %	-10.0	↘
	全 体	8.3 %	11.1 %	-2.8	↘

第3章 各判断項目回答割合

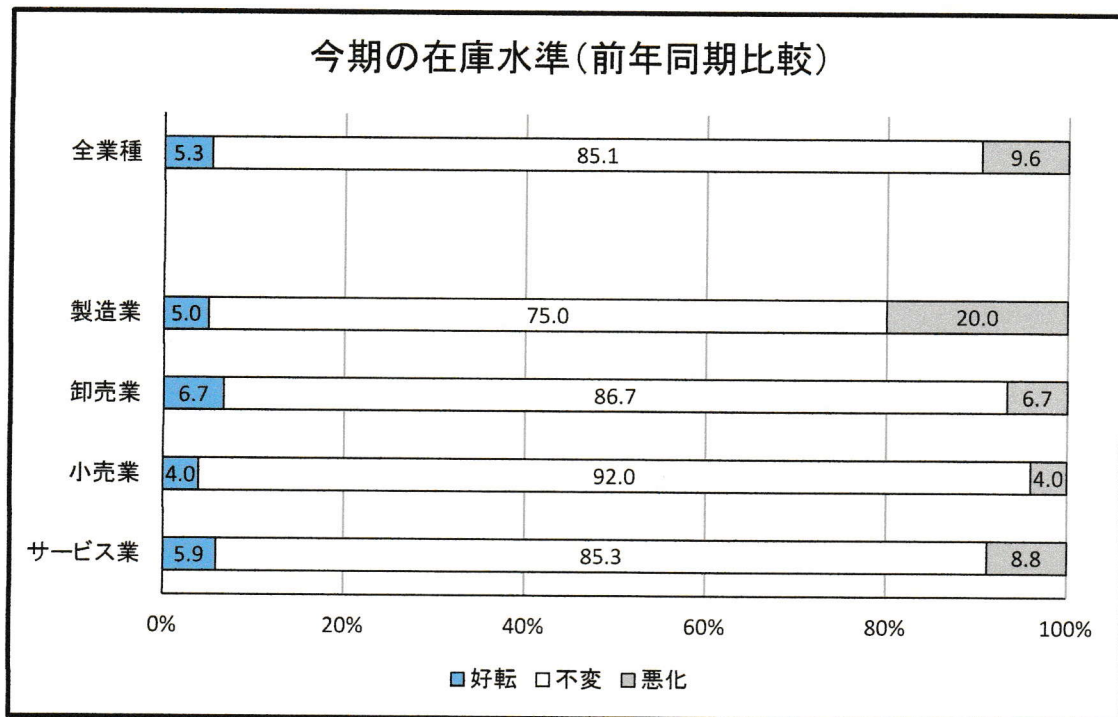
3-1. 業況



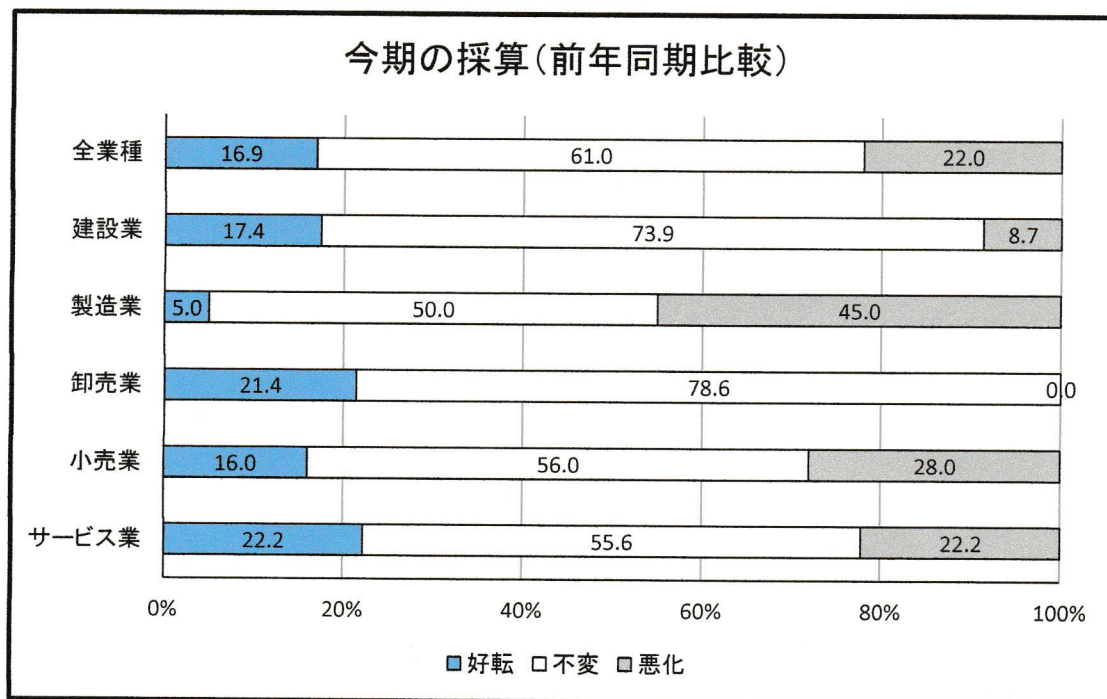
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



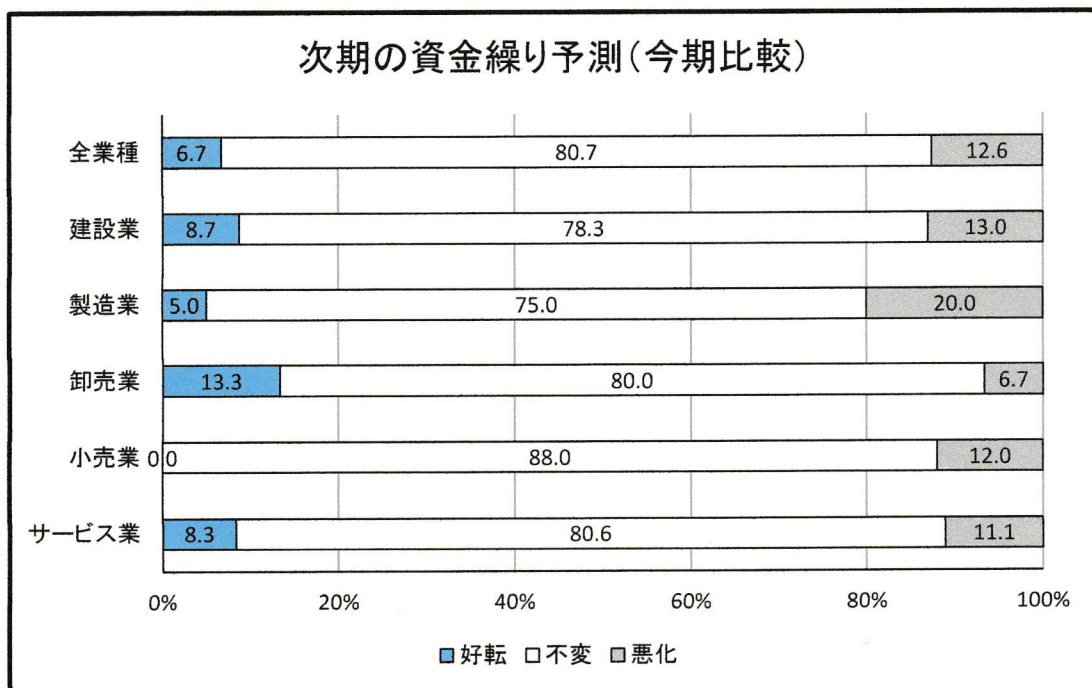
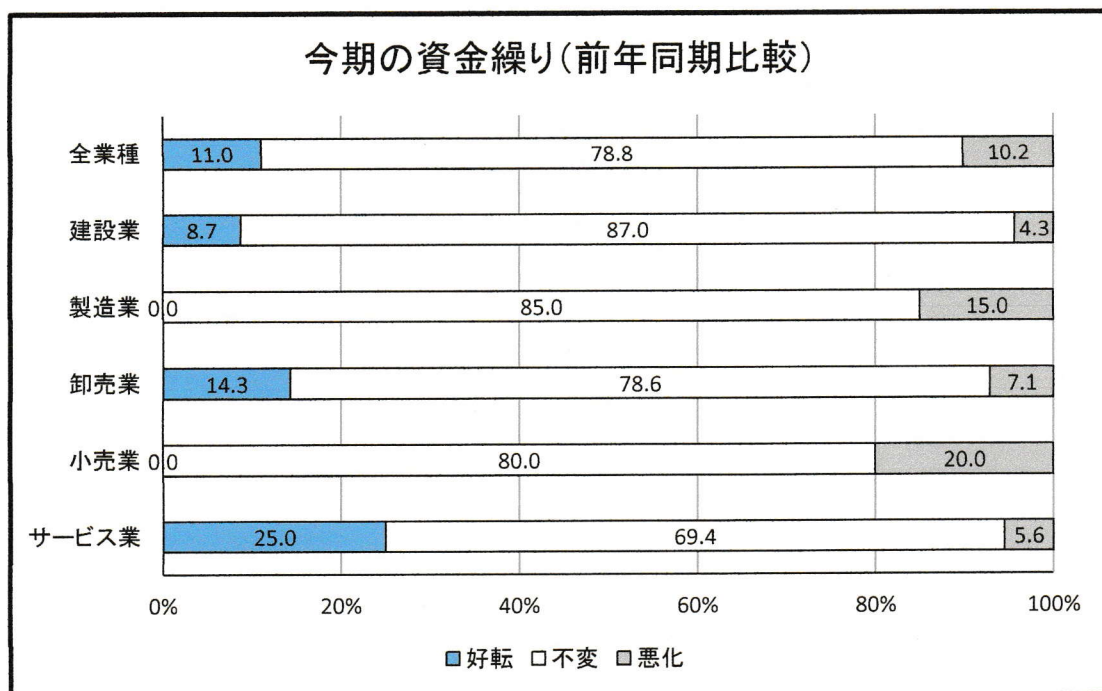
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

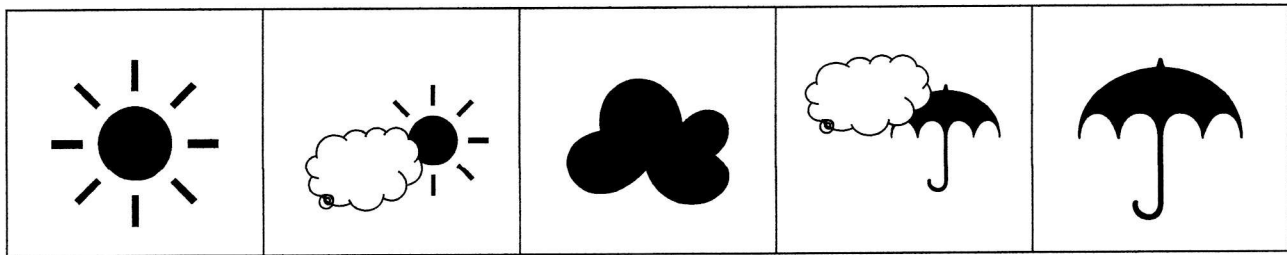


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

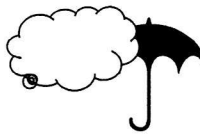
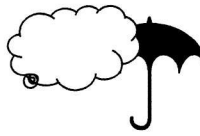
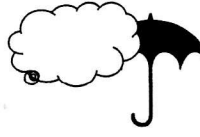
好 調
($50 > \text{D.I.} \geq 25$)

まあまあ
($25 > \text{D.I.} \geq 0$)

不 振
($0 > \text{D.I.} \geq \blacktriangle 25$)

きわめて不振
($\blacktriangle 25 > \text{D.I.}$)

4-2. 全業種 D.I.値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 $\blacktriangle 1.7$	 $\blacktriangle 15.1$
売 上	 $\blacktriangle 2.5$	 $\blacktriangle 17.8$
採 算	 $\blacktriangle 5.1$	
資金繰り	 0.8	 $\blacktriangle 3.5$

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 21.7	 0.0
	完成工事高	 8.7	 ▲ 4.3
	採 算	 8.7	
	資金繰り	 4.3	 ▲ 4.3
製造業	業 況	 ▲ 30.0	 ▲ 25.0
	生産高	 ▲ 30.0	 ▲ 20.0
	採 算	 ▲ 40.0	
	資金繰り	 ▲ 15.0	 ▲ 15.0
卸売業	業 況	 6.7	 ▲ 13.3
	売 上	 6.7	 ▲ 42.9
	採 算	 21.4	
	資金繰り	 7.1	 6.7

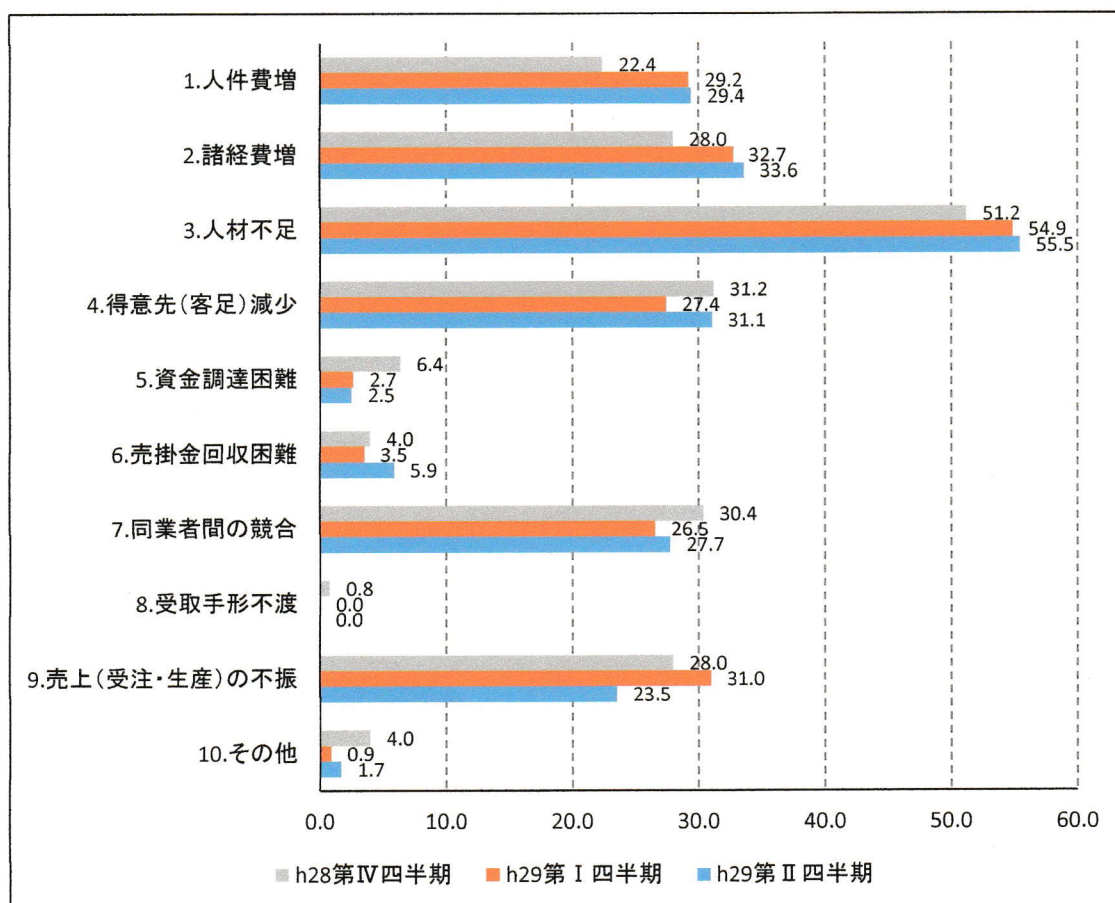
	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 28.0	 ▲ 20.0
	売 上	 ▲ 20.0	 ▲ 16.0
	採 算	 ▲ 12.0	
	資金繰り	 ▲ 20.0	 ▲ 12.0
サービス業	業 況	 13.9	 ▲ 16.7
	売 上	 13.9	 ▲ 16.7
	採 算	 0.0	
	資金繰り	 19.4	 ▲ 2.8

第5章 産業別経営上の問題点

5-1. 回答実数

業 種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	同業者間の競合 売上の不振	
製造業	人材不足	諸経費増	同業者間の競合	得意先減少	人件費増 売上の不振
卸売業	得意先減少 同業者間の競合		人材不足	諸経費増	人件費増 売上の不振
小売業	得意先減少	売上の不振	人材不足	諸経費増 同業者間の競合	
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振
合 計	人材不足	諸経費増	得意先減少	人件費増	同業者間の競合

5-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	9 件	39.1	9 件	45.0	2 件	13.3	6 件	24.0	11 件	30.6	37 件	31.1
しない	14 件	60.9	10 件	50.0	13 件	86.7	19 件	76.0	25 件	69.4	81 件	68.1
無回答	-	-	1 件	5.0	-	-	-	-	-	-	1 件	0.8
合 計	23 件	100.0	20 件	100.0	15 件	100.0	25 件	100.0	36 件	100.0	119 件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを示している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合 計
土 地	2 件	1 件	-	-	-	3 件
店 舗	-	1 件	1 件	-	3 件	5 件
販売設備	-	-	-	1 件	1 件	2 件
車輛運搬具	6 件	1 件	-	3 件	5 件	15 件
付帯設備	-	4 件	1 件	2 件	3 件	10 件
OA機器	2 件	-	1 件	1 件	1 件	5 件
福利厚生施設	1 件	2 件	-	-	-	3 件
その他	-	5 件	-	-	-	5 件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(5件記述有り)

・工具・備品、工場、生産設備、製本機器、食品加熱機(製造業)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・超高齢化と人材不足。

【製造業】

- ・工場における機械化は進めているものの、慢性的な人手不足（生産数量は増加傾向にあるため）。
- ・同業者間の競合で得意先の単価金額が減少。

【卸売業】

- ・去年の台風の影響で今年の春から状況が不安定で、年末の状況を見るまでは、来春の注文をどうするか様子を見ているため、メーカーへの発注が遅れている。天候に左右される業種のため仕方ない。1～2年間では分からないので、5～6年単位の状況でみるのが重要な業種である。

【小売業】

- ・日本のお土産文化がだんだん薄れて買い物をしなくなっている。網走への日本人観光客の減少、また中国の日本への渡航規制をかけられてインバウンド客の減少、魚介類の値上げによる食材による利益が減少。最低賃金の改正により人件費増による経費増。同業他社の閉店により網走へのエージェントのコース変更が起きないか気掛かりである。
- ・整備士等の人材不足。タイヤ用品等競合他社との安売り合戦。

【サービス業】

- ・昨年の台風被害からようやく回復した。
- ・人材不足、人手不足が深刻だ。ハローワーク、求人誌、地元フリーペーパー、ロコミ、NET 求人全て試したが、結果が出ない。派遣も敵任が見つからない状況。営業日や営業時間の短縮や一部廃業も余儀なくされている。観光客（個人型）、インバウンドの増加でビジネスチャンスが拡大している時だけに痛手である。
- ・喫茶店業界は視界不良。好転のきざしはありません。店舗数は現在、ピーク時の4分の1で約10店。売上も全体的に減少し、店主らは頭をかかえているのではないかと。若者が携帯に夢中の話は喫茶店でリアルに向き合い、コミュニケーションをとることは望めない。ナビゲーションやテレビなど楽しくひまつぶしができる高品質・高機能な車の登場も喫茶店離れの一因で、一人でも足を運んでくれるような魅力的な喫茶店経営をめざして切磋琢磨するしかない。
- ・仕入材料費がわずかに値上がり傾向にある。
- ・今年も人材不足で困っている。